

テレコントロールスイッチ拡張ユニット

XSB-103

取扱説明書

XSB-103

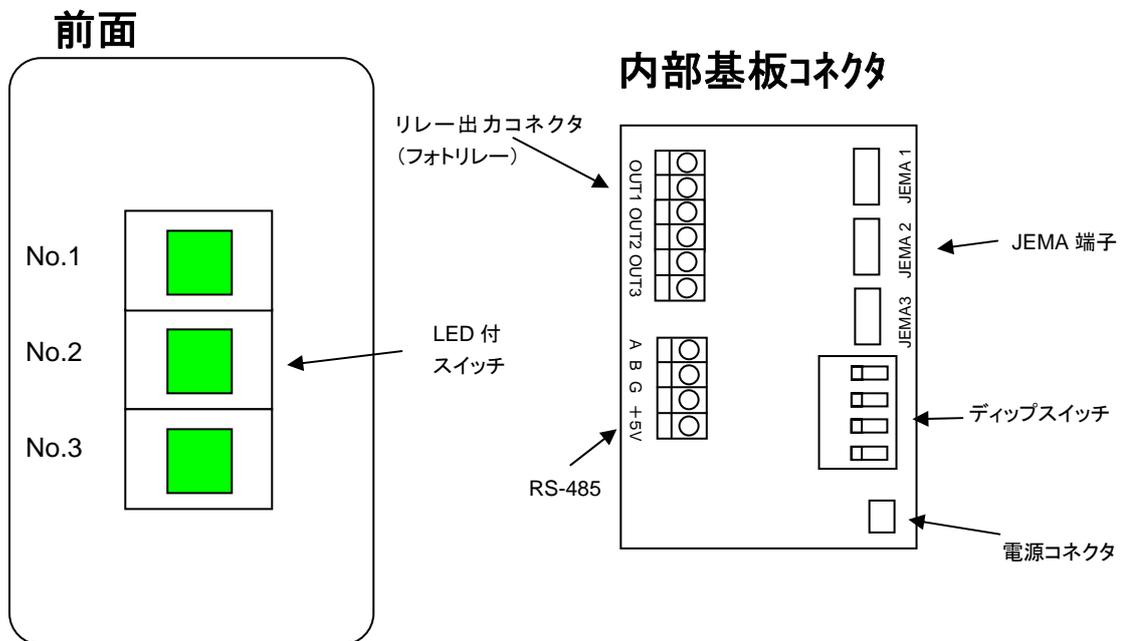
<目次>

1. 概要.....	2
2. 各部の名称.....	2
3. 付属品.....	2
4. 本体の設置.....	3
A. 最初に.....	3
B. フロントパネルを外す.....	3
C. 基板を外す.....	3
D. 壁面の電線.....	3
E. スイッチボックス上下への引き出し.....	4
F. 壁面へのボックスの取り付け.....	4
G. 基板への結線.....	4
H. 基板とフロントパネルを元に戻す.....	5
I. ACアダプタ.....	5
J. 結線.....	5
5. 設定方法.....	6
6. 電源スイッチ拡張ユニット.....	7
7. 仕様一覧.....	7
8. カスタマイズ.....	8
9. 使用上の注意.....	8

1. 概要

- ・ テレコントロールスイッチ拡張ユニットXSB-103は、電話回線を通して遠隔操作できるスイッチXSB-100 シリーズの拡張用 IO ユニットです。XSB-100 シリーズの詳細につきましてはXSB-100 シリーズの取扱説明書をご覧ください。
- ・ 本装置では、1 台あたり押しボタンスイッチ 3 個、ドライ接点 3 個、JEMA 端子(HA 端子)出力 3 個を拡張することができます。
- ・ XSB-100 シリーズを親機として、XSB-103 を最大 5 台接続することができます。
- ・ 各装置間は RS-485 で通信していますので最大1Km まで延長できます。

2. 各部の名称



3. 付属品

付属品としては以下のものが同梱されています。ご確認ください。

- | | |
|----------------|---------|
| ・ XSB-103 装置本体 | 1 台 |
| ・ AC アダプタ | 1 個 |
| ・ 木ネジ | 2 個 |
| ・ 取扱説明書 | 1 冊(本誌) |

4. 本体の設置

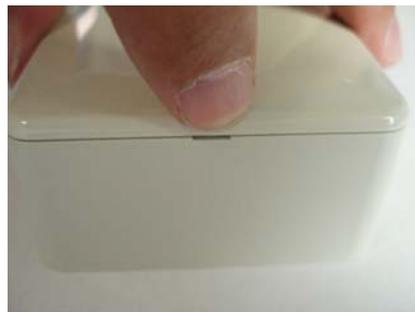
A. 最初に

- ・ XSB-103 に使用しているスイッチボックスは JIS 規格に従っています。従って多くのスイッチボックス用のパネル、埋め込みボックス等が使用できます。(注1)
- ・ 埋め込みで使用されるときは、埋め込みボックスはプラスチック製を使用してください。金属製だとショートする可能性があります。

注1: 全てのボックス、パネルの使用可能を保証するものではありません。

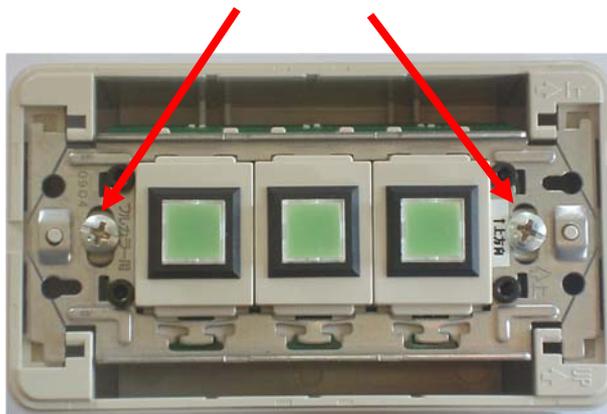
B. フロントパネルを外す

写真1のように下部のフロントパネルとボックスの間にある小さな穴に指をかけてフロントパネルを引き剥がします。



C. 基板を外す

フレームを止めている2つのネジを外し、基板を前方に外します。



D. 壁面の電線

壁面に取り付けるときは事前に電線を壁から引き出しておいてください。



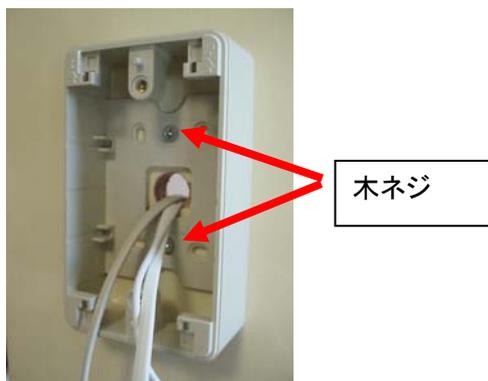
E. スイッチボックス上下への引き出し

スイッチボックスから上下に電線を引き出す場合はケースのノックアウト穴をペンチなどでノックアウト穴を開けて下さい。



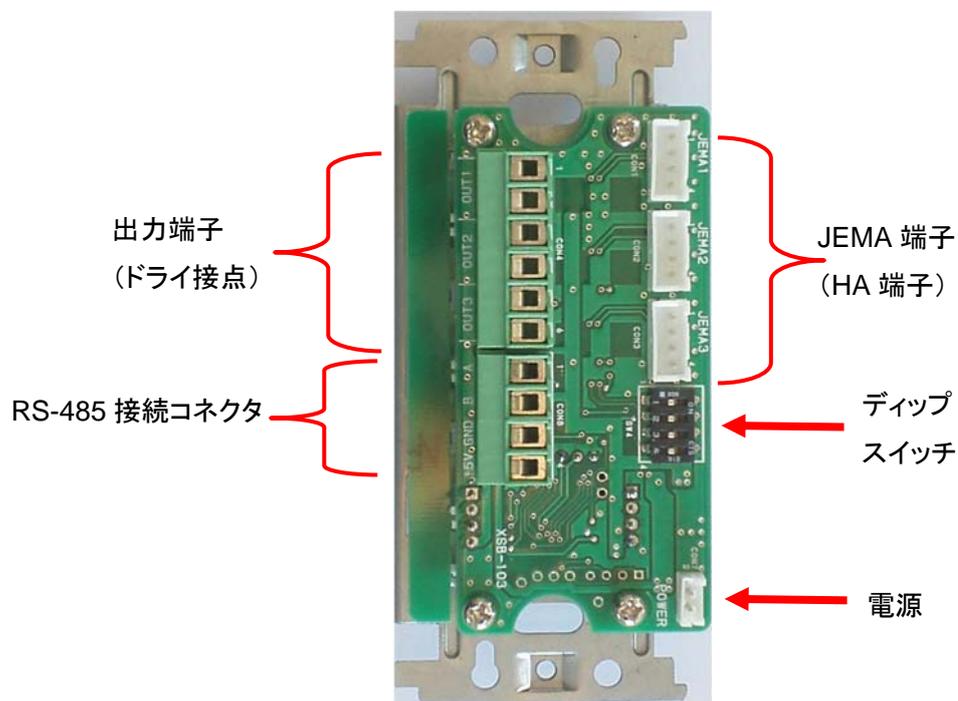
F. 壁面へのボックスの取り付け

壁面へ付属の木ネジを使用してケースを取り付けます。



G. 基板への結線

J. 結線に従い、各電線を基板へ取り付けてください。



H. 基板とフロントパネルを元に戻す

B.フロントパネルを外す C.基板を外す の逆の手順で基板及びフロントパネルを元に戻します。

I. ACアダプタ

- ・AC アダプタサイズ 45×50×16mm
- ・差込部分は90度まで方向を変更できます。
- ・ケーブルの長さは3mです。
- ・100Vコンセントを準備して差し込んでください。



注:RS-485 ケーブルで電源が供給されており

XSB-100EX と XSB-103 の距離が近くて

電圧が5V 以上供給されている場合は AC アダプタは必要ありません。

J. 結線

各コネクタへ以下のように接続してください。

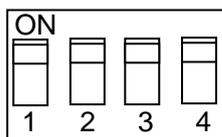
種類	内容
ACアダプタ (CON7)	AC アダプタをコンセントへ刺し、AC アダプタからのケーブルを電源コネクタへ接続してください。 XSB-100 シリーズと XSB-103 の距離が近く、RS-485 コネクタの+5V が5V 以上あれば AC アダプタを接続する必要がありません。
出力端子 (CON4) (OUT1, 2, 3)	出力端子はフォトリレーによる最大60V1Aのドライ接点(A接点)となっています。 基板のOUTと書いてあるピンに接続してください。極性はありません。
JEMA端子 (CON1, 2, 3)	JEMA端子(HA端子、JEM1427端子)とはエアコン、床暖房、電気錠などのオンオフを制御するための端子です。本装置には専用ケーブルが付属していますので、片方をコントロールされたい装置に反対をこの装置のJEMA端子コネクタへ接続してください。長いケーブルは別注可能です。 出力端子とも結合していますのでこの端子を使用した時は、出力端子は使用できません。
RS485 コネクタ (CON8)	XSB-100 シリーズの RS485 コネクタと銅線で接続します。 絶対に接続を間違えないように接続してください。

5. 設定方法

この装置で設定する内容は次のとおりです。

先頭アドレス設定

- ・装置のアドレス
 - ・端子を JEMA 端子(HA 端子)として使用するか、
リレー接点として使用するか
- 設定内容は次のとおりです。



スイッチアドレス No.1,2,3			
先頭 アドレス	ディップスイッチ		
	No.3	No.2	No.1
2	OFF	OFF	OFF
5	OFF	OFF	ON
8	OFF	ON	OFF
11	OFF	ON	ON
14	ON	OFF	OFF

出力モード No.4	
スイッチ	内容
OFF	リレー出力
ON	JEMA 端子

電話回線経由で制御するとき、それぞれの
コマンドは先頭アドレスを指定する必要があります。

OUT1 : 先頭アドレス

OUT2 : 先頭アドレス+1

OUT3 : 先頭アドレス+2

例

ディップスイッチ

No.3:OFF No.2:ON No.1:ON

先頭アドレス 11のとき

OUT1:11 OUT2:12 OUT3:13

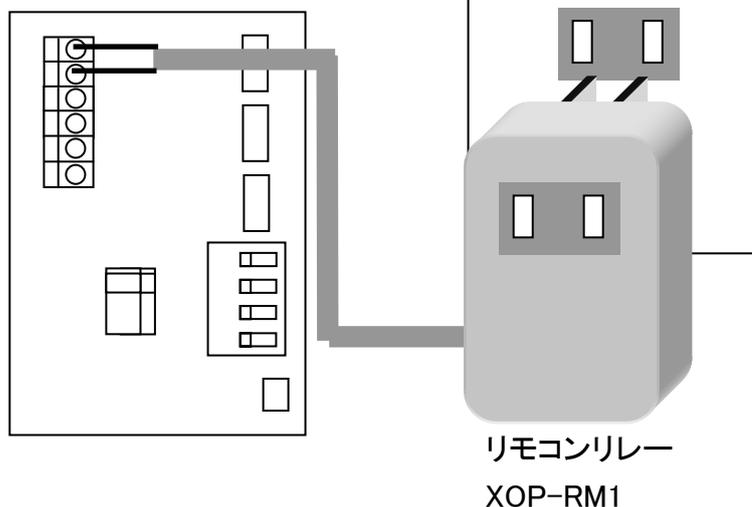
6. 電源スイッチ拡張ユニット

本装置で100V 電源を制御する場合はオプションのリモコンリレー XOP-RM1 を使用します。

このリモコンリレーでオン・オフできる電源は最大で500W までです。

出力端子 OUT に接続します。

それ以上の定格のオン・オフについてはお問い合わせください。



7. 仕様一覧

項目	内容	備考
電源電圧	AC100V (50Hz 60Hz)	
消費電力	最大1W	
リレー接点出力端子	3	
リレー接点出力定格	最大60V 1A フォトリレー抵抗0.25Ω(標準)	絶対に定格を超えないでください。
設定方式	ディップスイッチ	
通信方式	RS-485 9600bps 8ビット ノンパリティ	
使用環境	温度0~40℃ (湿度20~80%)	ただし結露なきこと
サイズ(W x H x D)	70 x 120 x 45mm	
質量	200g	オプション含まず

8. カスタマイズ

- ・ 音声および機能はお客様のご要望に従い、有償で変更可能です。ご相談ください。

9. 使用上の注意

- ・ この装置を人の生命や、経済的に重大な損失を与える可能性のある機器へ使用する事はおやめください。
- ・ オプション XOP-RM1 の最大定格は500W です。この装置からタコ足配線で多くの機器を接続したりしないでください。またモーターなどの誘導性のある装置への接続はおやめください。最悪装置の発煙、発火を引き起こします。
- ・ リレー接点出力の最大定格は60V 1A です。これを超える装置又は回路への接続はおやめください。最悪装置の発煙、発火を引き起こします。
- ・ この装置は室内用です。屋外および日光が直接当たる所では使用できません。
- ・ この装置は通常の電子回路で構成されています。場合によっては故障する場合があります。従ってこの装置の故障および不具合によって発生したいかなる責務も当社はその責を免れるものとします。

マトリックス電子株式会社 制御機器事業部

フリーダイヤル:0120-967-232

携帯・PHSからは 050-3735-5497

E-mail: support@mtrx.jp ホームページ: www.mtrx.jp